



き ず な



2015年(第3号)

診療科紹介 循環器内科

因院患者の約45%が狭心症・心筋梗塞などの虚血性心疾患です。その他、不整脈の患者が15%で高齢化社会に伴い、心不全の患者が20%と増加傾向になっております。救命救急センター開設に伴い急性冠動脈症候群の患者受け入れも増加(2014年度は81名)し、緊急に心臓カテーテル検査を行い経皮的冠動脈拡張術、ステント留置術による血行再建を積極的に行い、良好な成績を挙げております。発作性上室性頻拍、WPW症候群、心房粗動、心室頻拍、発作性心房細動などに対するカテーテルアブレーションを導入し、上記不整脈に日常悩んでいる患者へ根治術を目指し積極的に治療を行い、2014年度はカテーテルアブレーションとして28例施行致しました。ペースメーカー植え込み患者数も増加傾向にあり、2014年度は87例のペースメーカー植え込み術・交換術を施行し、中には致死的不整脈を有する患者に対してはICD植え込み術を、拡張型心筋症などの低心機能症例で、重症心不全の患者に対しては心臓再同期療法(CRT)を導入しております。また、腎動脈狭窄や閉塞性動脈硬化症などの末梢動脈狭窄に対する経皮的動脈形成術(EVT)も積極的に行っており、2014年度は、29例とニーズは増加傾向にあります。また、2012年1月から心臓血管外科医が2人体制となりましたので、循環器センターを立ち上げ、内科と外科医との密接な連携のもと内科的カテーテル治療のみならず、人工心肺を用いないオフポンプ冠動脈バイパス術(OCPCAB)や、弁膜症、先天性心疾患などに対する開心術といった外科的治療も組み合わせ循環器疾患の治療に当たってまいります。



循環器センター医師(循環器内科 総合診療科 心臓血管外科) 内科医と外科医が連携し、循環器疾患の治療に当たっています!

☆外来診療体制について

- ・過去3ヶ月に受診歴がない場合は、紹介状が必要になります。
- ・待ち時間の短縮のため、事前に予約をして受診することをお勧めいたします。
- ・緊急を要する紹介の場合は、直接外来看護師に電話をお願いいたします。

地域医療連携室からのご案内

がんサロン「ほっとサロン」



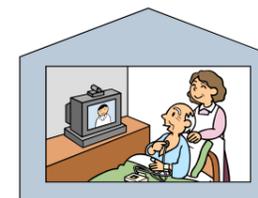
日時：9月29日(火) 13時～14時30分
 場所：小田原市立病院 1階 放射線科並び 入院患者お薬確認場所
 参加費：300円(お茶代・資料代)
 今回のミニ講座は、『痛みについて』です。
 がん患者さん・そのご家族様、緩和ケア認定看護師やがん専門相談員と普段思っていることを気軽に語らいませんか。

申込 小田原市立病院 地域医療連携室内 がん相談支援センター
 いっとうぎ
 がん専門相談員 一籾木 (電話 0465-34-3175)

傷見る会

日時：10月14日(水) 18時30分開始
 場所：小田原医療福祉会館 4階会議室
 褥瘡、下腿潰瘍等のきずについて、どんな治療、対処をしたらよいか、皆で知恵を出し合い話し合ってみませんか。
 会の内容や参加等についてのお問い合わせ
 小田原市立病院 地域医療連携室
 皮膚排泄ケア認定看護師 清水 (電話 0465-34-3175)

市民公開講座



～住みなれた地域でがんになっても自分らしく～
 主催：小田原市立病院
 日時：10月24日(土) 13時～16時
 場所：おだわら総合医療福祉会館 4階ホール
 第1部 講演会 「がんになっても住み慣れた地域で自分らしく」
 めぐみ在宅クリニック院長 小澤 竹俊先生
 第2部 地域医療の現場から
 体験談・・・患者家族、訪問診療医、訪問看護師
 第3部 がん相談
 *後日、ちらしを郵送させていただきます
 申込：事前申込は不要、当日会場にお越しください
 お問い合わせは、小田原市立病院 地域医療連携室(電話 0465-34-3175)

【編集後記】

第3号きずな、夏に発行予定でしたが、皆さまのお手元に届く頃には、季節は秋ですね。気温の変化が激しく体調コントロールが難しいと時期ですが、美味しいものを食べ体力をスピーディーに対応していきたいと思っております。「市立病院のここが知りたい」等ありましたら、どうぞ声をおかけください。お待ちしております。

発行者 小田原市立病院 地域医療連携室
 発行月 2015年8月
 連絡先 小田原市久野46番地
 小田原市立病院 地域医療連携室
 電話 0465-34-3175

6月18日 看護の日のイベント開催

講演「病院から地域へつなぐ医療」 ～住み慣れた地域で自分らしく暮らしていくために～

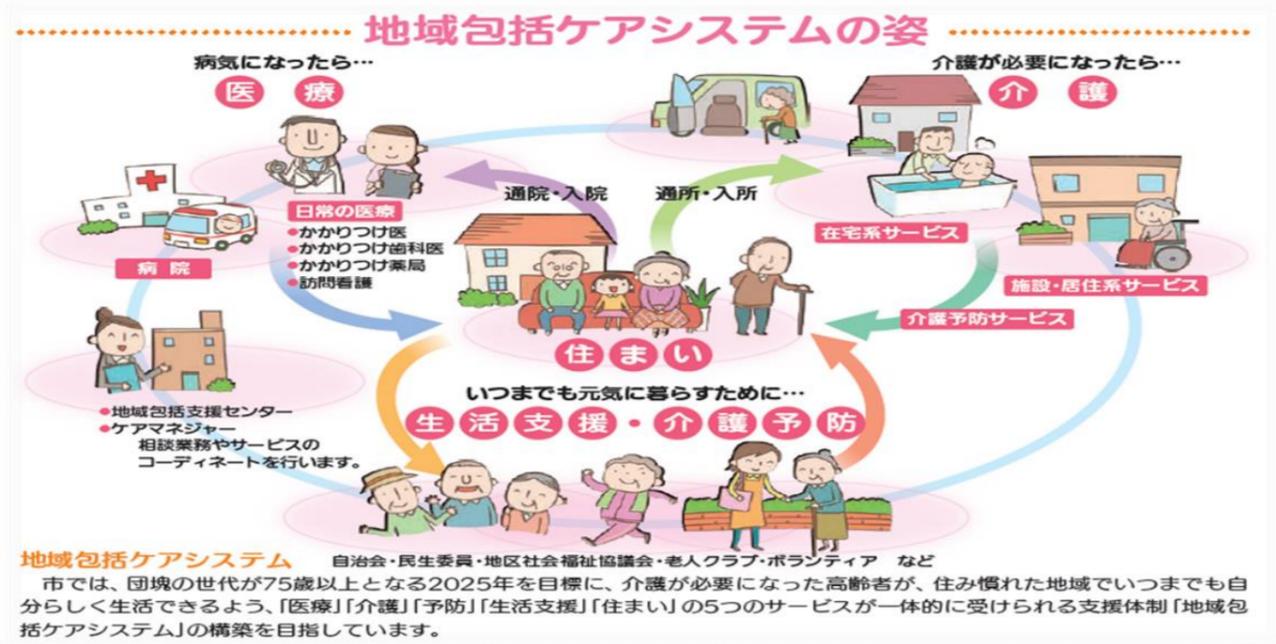
【地域包括における小田原市立病院の役割】
小田原市立病院 地域医療連携室
濱野 光利 係長

「地域みなさんに安心を届けるために
市立病院をどう活用すればよいか
知っていただきたい」



【訪問看護師の役割と具体的な関わり】
宙看護ステーション
秋山 千恵美 施設長

「地域みなさんの『我が家のルール』に
添って、どうできるかを共に考えていく」



広報「おだわら」より

健康MAP 毎年大人気！！多くの方が参加されました

【訪問医 地域医師の立場から】
武井内科医院 武井 和夫 院長



「在宅医療はみなさんの想いを支える一部」
「本人や家族が、どう生き、どう暮らしたいか、
どのような最期を迎えたいか考える必要がある」

【地域包括ケアシステム 小田原市の取り組み】
小田原市福祉健康部高齢介護課
青木 章子 副課長



「しくみの中で支え合う」
「小田原市の地域包括システムを
皆さんで作っていきましょう」



骨密度・体脂肪率・血管年齢・・・
昨年と比べてどうでしょうか、良くなっていますか。
講演にもあったように、「元氣なことは、元氣で」
いつまでも過ごせるように、看護部一丸となつての
催しです

